

令和元年上半期

# 火災と救急・救助の概要



三木市消防本部

# 令和元年上半期火災と救急・救助の概要

この統計は、平成31年1月1日から令和元年6月30日までの上半期に、三木市で発生した火災・救急・救助を集計したものです。

## [ 目 次 ]

### 火 災 概 要

1	火災種別件数（対前年比）	1
2	火災概要（対前年比）	2
3	署別火災件数	3
4	地区別火災件数	3
5	月別火災件数	3
6	曜日別火災件数	4
7	時間別火災件数	4
8	覚知別火災件数	4
9	原因別火災件数	5
10	初期消火の状況	5
11	死者の状況	5
12	消防部隊出動状況	6
13	高速道路別出動状況	6

### 救 急 概 要

1	救急出場件数	7
2	事故種別救急活動状況	8
3	地区別救急出場件数	8
4	曜日別救急出場件数	9
5	月別救急出場件数	9
6	時間別救急出場件数	9
7	傷病程度別搬送人員	10
8	年齢別搬送人員	10
9	性別・科目別搬送人員	10
10	応急処置件数	11

### 救 助 概 要

1	救助出動状況	12
2	発生場所別出動件数	12
3	事故種別地区別活動状況	13

## 令和元年上半期の火災概要

本年上半期（1月～6月）に発生した火災件数は12件で、前年と比べ3件減少しました。

火災種別では、建物火災が5件減少して5件（41.7%）、林野火災は3件増加して4件（33.3%）、車両火災は1件（8.3%）、その他火災は1件減少して2件（16.7%）となっています。

建物焼損棟数は5棟で、部分焼3棟、ぼや2棟、り災世帯は3世帯、り災人員は6人です。

建物焼損面積は7㎡（前年1,213㎡）で減少しました。

火災損害額は434千円（前年26,895千円）で減少しています。

建物焼損面積、並びに火災損害額は大幅に減少しました。

### 1 火災種別件数（対前年比）

発生年		令和元年	平成30年
出火件数		12件	15件
火 災 種 別	建 物	5	10
	林 野	4	1
	車 両	1	1
	船 舶	0	0
	その他	2	3

## 2 火災概要（対前年比）

出火件数は3件減少しています。  
林野火災は増加し、建物・その他火災は減少しています。

区 分	単 位	令和元年	平成30年	比 較
出 火 件 数	件	12	15	△ 3
建 物	〃	5	10	△ 5
住 宅	〃	3	4	△ 1
工 場	〃	1	2	△ 1
そ の 他	〃	1	4	△ 3
林 野	〃	4	1	3
車 両	〃	1	1	0
船 舶	〃	0	0	0
そ の 他	〃	2	3	△ 1
損 害 額	千円	434	26,895	△ 26,461
建 物	〃	232	26,790	△ 26,558
建 物	〃	175	12,387	△ 12,212
収 容 物	〃	57	14,403	△ 14,346
林 野	〃	0	0	0
車 両	〃	102	103	△ 1
船 舶	〃	0	0	0
そ の 他	〃	100	2	98
爆 発	〃	0	0	0
建 物 焼 損 棟 数	棟	5	16	△ 11
全 焼	〃	0	5	△ 5
半 焼	〃	0	2	△ 2
部 分 焼	〃	3	3	0
ぼ や	〃	2	6	△ 4
爆 損	棟	0	0	0
損 害 棟 数	棟	0	0	0
車 両 等 数	台	0	0	0
焼 損	m <sup>2</sup>	7	1,213	△ 1,206
建 物 床 面 積	m <sup>2</sup>	7	1,213	△ 1,206
建 物 表 面 積	〃	26	66	△ 40
林 野	a	42	19	23
車 両	台	1	2	△ 1
船 舶	台	0	0	0
負 傷 者	人	1	6	△ 5
死 者	〃	0	1	△ 1
り 災 世 帯	世帯	3	9	△ 6
全 損	〃	0	4	△ 4
半 損	〃	0	0	0
小 損	〃	3	5	△ 2
り 災 人 員	人	6	18	△ 12
建 物 1 件 当 た り の 損 害 額	千円	46	2,679	△ 2,633
〃 焼 損 床 面 積	m <sup>2</sup>	1	121	△ 120

(△印は減少)

### 3 署別火災件数

本署管内は4件減少、広野管内は増減なし、吉川分署管内は1件増加しています。

種 別		建 物	林 野	車 両	船 舶	その他	合計
署 別	年						
本 署	元年	3	0	1	0	1	5
	30年	8	0	0	0	1	9
広野分署	元年	2	0	0	0	0	2
	30年	1	0	1	0	0	2
吉川分署	元年	0	4	0	0	1	5
	30年	1	1	0	0	2	4
合 計	元年	5	4	1	0	2	12
	30年	10	1	1	0	3	15

### 4 地区別火災件数

志染、細川、口吉川地区で増加し、三木、別所、緑が丘地区で減少しています。

地区	三木	三木南	別所	志染	細川	口吉川	緑が丘	自由が丘	青山	吉川	合計
元年	2	1	1	1	2	1	1	0	0	3	12
30年	3	0	6	0	1	0	2	0	0	3	15

### 5 月別火災件数

6月が4件と最も多く発生しています。

月	1	2	3	4	5	6	合計
元年	0	2	2	2	2	4	12
30年	5	0	2	5	2	1	15

## 6 曜日別火災件数

月曜日が4件と最も多く発生しています。

曜日	日	月	火	水	木	金	土	不明	合計
元年	2	4	1	0	2	1	2	0	12
30年	3	1	2	2	1	5	1	0	15

## 7 時間別火災件数

15時台が3件と最も多く発生しています。

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
元年	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
30年	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1

12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明	合計
2	0	1	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	12
0	0	1	1	4	1	1	1	1	2	0	0	0	15

## 8 覚知別火災件数

携帯電話の通報が10件と最も多くなっています。

種別	119 (固定)	119 (携帯)	加入 電話	警察 電話	駆け つけ	事後 聞知	その他	合計
元年	0	10	0	0	0	2	0	12
30年	3	6	1	0	0	4	1	15

## 9 原因別火災件数

たき火が7件となり、前年と同様火災原因のトップです。

原因別	元年	30年	原因別	元年	30年
たばこ	1	0	配線器具	0	0
こんろ	0	1	火あそび	0	0
かまど	0	0	マッチ・ライター	0	0
風呂かまど	0	0	たき火	7	5
炉	0	0	溶接機・切断機	0	1
焼却炉	0	0	灯火	1	0
ストーブ	0	2	衝突の火花	0	0
こたつ	0	0	取灰	0	0
ボイラー	0	0	火入れ	0	0
煙突・煙道	0	1	放火	0	0
排気管	0	1	放火の疑い	1	0
電気機器・装置	0	0	その他	2	3
電灯・電話配線	0	0	不明	0	1
内燃機関	0	0	調査中	0	0
			合計	12	15

## 10 初期消火の状況

住民等による初期消火が行われたのは、12件中11件です。

区分	初期消火の状況							初期消火なし	合計
	消防用設備	消火器	水道・浴槽・汲み置きの水	寝具・衣類等をか	もみ消した	その他	小計		
元年	0	1	7	0	3	0	11	1	12
30年	0	4	6	1	0	0	11	4	15

## 11 死者の状況

死者の発生はありません。

## 12 消防部隊出動状況

種 別	署 別	本 署	広野分署	吉川分署	合 計
部 隊		70	24	23	117
	偵 察	25	7	11	43
	警 戒	45	16	11	72
	応 援	0	1	1	2
	風 水 害	0	0	0	0

(救助は除く)

- ※「偵察」 偵察・煙火・自火報・誤報・捜索・異臭  
 「警戒」 救急支援・油処理・ガス漏洩・その他（へり誘導）  
 「応援」 近隣応援（境界、管轄高速道等）・緊急消防援助隊

## 13 高速道路別出動状況

道 別	種 別	火 災	救 急	救 助	偵 察	警 戒	応 援	風 水 害	合 計
中 国 道		0	2	0	1	1	0	0	4
舞鶴若狭道		0	1	0	0	1	0	0	2
山 陽 道		0	11	0	2	2	0	0	15
合 計		0	14	0	3	4	0	0	21

## 令和元年上半期の救急概要

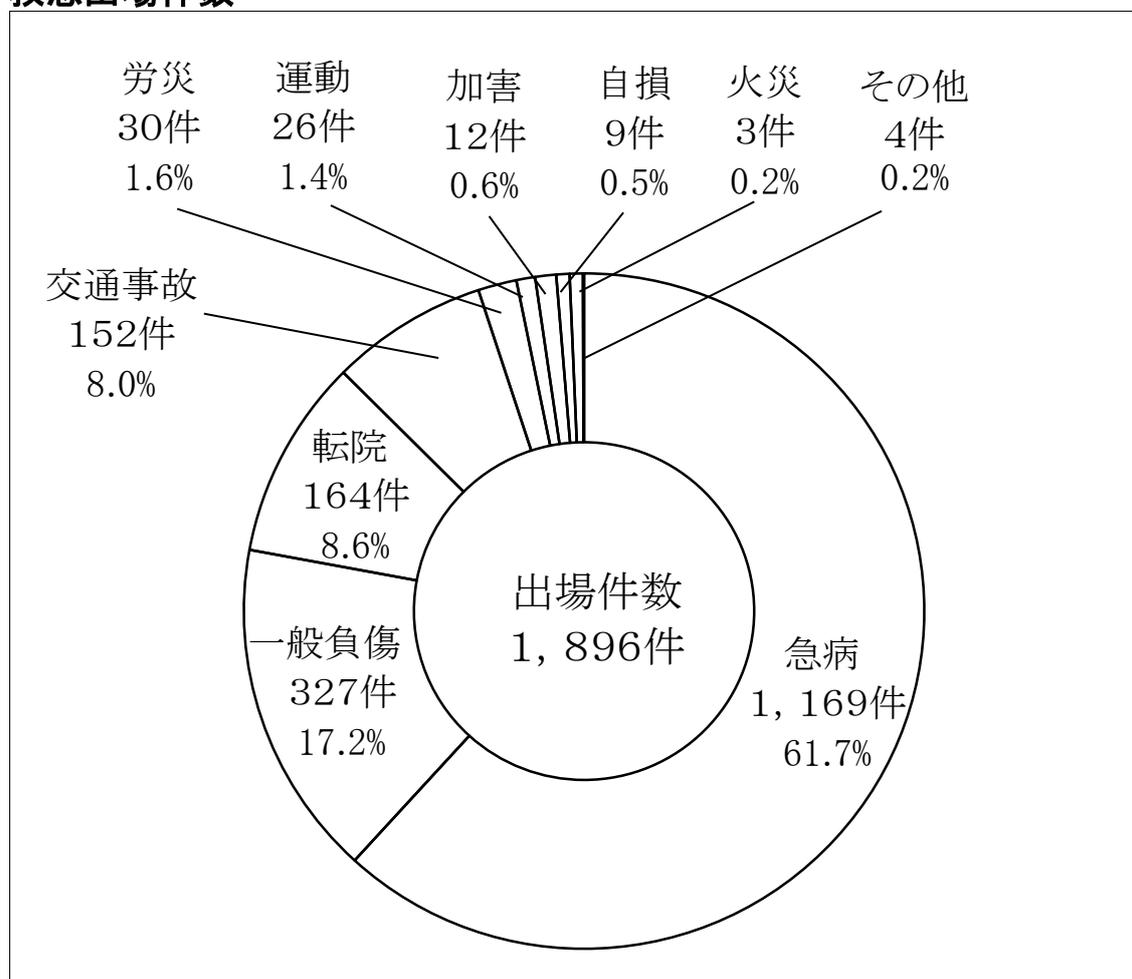
本年上半期（1月～6月）の救急出場件数は1,896件で、前年の1,918件に比べ22件減少しています。

搬送人員は1,771人で、昨年の1,768人に比べ3人の増加となっています。

事故種別出場件数は、急病が1,169件（61.7%）で最も多く、一般負傷327件（17.2%）、転院搬送164件（8.6%）、交通事故152件（8.0%）の順となっています。

事故種別による件数を昨年と比較すると、一般負傷（19件）交通事故（9件）運動競技（9件）が増加、転院搬送（19件）急病（11件）火災（9件）自損行為（9件）労働災害（5件）が減少となっています。

### 1 救急出場件数



## 2 事故種別救急活動状況

種別	区分	救急出場件数			搬送人員			
		元年	30年	比較	元年	30年	比較	
事故種別	火災	3	12	△9	1	7	△6	
	自然災害	0	0	0	0	0	0	
	水難	0	1	△1	0	0	0	
	交通	152	143	9	160	137	23	
	労働災害	30	35	△5	30	32	△2	
	運動競技	26	17	9	24	16	8	
	一般負傷	327	308	19	304	283	21	
	加害	12	13	△1	10	9	1	
	自損行為	9	18	△9	7	9	△2	
	急病	1,169	1,180	△11	1,073	1,092	△19	
	その他	転院搬送	164	183	△19	162	183	△21
		医師搬送	0	1	△1	0	0	0
		資器材輸送	0	0	0	0	0	0
		その他	4	7	△3	0	0	0
	合計	1,896	1,918	△22	1,771	1,768	3	
不搬送		146	159	△13				
管外搬送					1,189	1,185	4	

※管外搬送人員には、北播磨総合医療センターを含みます。(△印は減少)

## 3 地区別救急出場件数

地区	三木	三木南	別所	志染	細川	口吉川
元年	527	199	164	161	68	44
30年	549	188	172	169	64	52

緑が丘	自由が丘	青山	吉川	その他	合計
190	261	75	189	18	1,896
186	236	64	205	33	1,918

#### 4 曜日別救急出場件数

日曜日が最も多く、最も少ないのは水曜日となっています。

曜日	日	月	火	水	木	金	土	合計
元年	290	262	277	250	270	265	282	1,896
30年	262	299	267	240	277	285	288	1,918

#### 5 月別救急出場件数

1月が最も多く、最も少ないのは6月です。

1ヶ月平均316件、1日平均では10.5件出場しています。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
元年	391	300	307	317	295	286	1,896
30年	345	376	343	293	280	281	1,918

#### 6 時間別救急出場件数

10時台の138件が最も多く、次に12時台の124件で、最も少ないのは4時台の23件で、次に3時台の29件です。

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
元年	40	31	36	29	23	47	47	88	99	112	138	91
30年	36	40	24	29	27	37	53	66	116	133	130	124

12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	合計
124	115	98	105	119	89	105	95	89	71	48	57	1,896
98	122	94	105	97	112	101	100	95	61	66	52	1,918

## 7 傷病程度別搬送人員

傷病程度別では、軽症が全体の半数以上を占め、次いで中等症、重症、死亡の順となっています。

単位：人

程度別	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	合 計
元年	19	68	723	961	0	1,771
30年	20	70	829	849	0	1,768

## 8 年齢別搬送人員

高齢者（65歳以上）が最も多く、搬送人員の65.4%を占めています。

単位：人

年齢別	新生児 (生後28日未満)	乳幼児 (28日～6歳)	少 年 (7歳～17歳)	成 人 (18歳～64歳)	高齢者 (65歳以上)	合 計
元年	1	66	81	465	1,158	1,771
30年	0	81	65	468	1,154	1,768

## 9 性別・科目別搬送人員

昨年と比べると男性11人の増加、女性8人の減少となっています。科目別では、内科886人、整形外科313人、脳神経外科の308人の順となっています。

単位：人

科目別	外 科		整形外科		脳神経外科		内 科		小児科		精神神経科	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
元年	98	49	161	152	183	125	474	412	26	37	3	5
30年	74	36	139	154	180	131	486	433	52	37	2	3

産婦人科	眼 科		耳鼻咽喉科		泌尿器科		その他		合 計		
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	7	4	4	5	6	12	2	3	3	969	802
	5	3	0	7	8	12	0	3	3	958	810

## 10 応急処置件数

全搬送人員1,771人中1,770人に対して応急処置が施されています。中でも患者観察の基本となる血中酸素飽和度測定(98%)、血圧測定(96%)は高比率で行われています。

事故種別 応急処置	急病	交通事故	一般負傷	左記以外	合計
応急処置対象人員(人)	1,073	160	303	234	1,770
止血	6	5	26	7	44
固定	5	60	41	20	126
人工呼吸	2	0	0	1	3
胸骨圧迫	0	0	0	0	0
心肺蘇生	33	1	3	4	41
酸素吸入	187	15	13	55	270
気道確保	57	1	8	10	76
経口エアウェイ	1	0	0	1	2
喉頭鏡・鉗子	0	0	1	0	1
※リングマスク等	16	0	0	2	18
※気管挿管	6	0	2	0	8
保温	39	7	9	6	61
被覆	6	38	65	19	128
在宅療法継続	6	0	0	1	7
除細動	0	0	0	0	0
血圧測定	1,024	157	295	227	1,703
心音・呼吸音聴取	119	31	16	14	180
血中酸素飽和度測定	1,044	159	300	230	1,733
心電図測定	628	34	49	111	822
※静脈路確保	23	0	2	3	28
心肺機能停止前	2	0	0	0	2
心肺機能停止後	21	0	2	3	26
※薬剤投与	10	0	2	0	12
※血糖測定	4	0	0	0	4
※ブドウ糖投与	2	0	0	0	2
その他	19	1	1	3	24
合計	3,214	509	830	711	5,264

※印は、救急救命士の特定行為等

## 令和元年上半期の救助概要

令和元年上半期における救助出動件数は25件で、前年と比べ13件少なく、出動件数のうち屋内建物等による事故が12件で、全体の48%を占めています。

### 1 救助出動状況

区分		事故種別									
		火災	交通	水難	風水害	機械等	建物等	ガス等	破裂	その他	合計
出動件数 (件)	元年	1	9	2			12			1	25
	30年	5	10	1			17	1		4	38
活動件数 (件)	元年	1	8	2			8			1	20
	30年	5	8	1			15	1		3	33
救助人員 (人)	元年		11	2			6			1	20
	30年		12	1			12			3	28
出動台数 (台)	元年	5	35	7			26			2	75
	30年	26	38	3			37	2		15	121
出動人員 (人)	元年	16	94	19			74			6	209
	30年	73	112	11			109	8		40	353

### 2 発生場所別出動件数

発生場所		事故種別									
		火災	交通	水難	風水害	機械等	建物等	ガス等	破裂	その他	合計
屋内	住居	1					12				13
	その他の屋内										0
屋外	高速道路										0
	その他の道路		9								9
	その他の屋外									1	1
	内水面			2							2
	外水面										0
	山岳										0
	その他										0
合計		1	9	2	0	0	12	0	0	1	25

### 3 事故種別地区別出動状況

三木地区が12件と最も多く、次いで吉川地区が5件となっています。

地区別 \ 事故種別	火災	交通	水難	風水害	機械等	建物等	ガス等	破裂	その他	合計
三木		2				9			1	12
三木南	1	1								2
別所		1								1
志染		1	1			1				3
細川			1							1
口吉川										0
緑が丘										0
自由が丘						1				1
青山										0
吉川		4				1				5
高速道路										0
管外										0
合計	1	9	2	0	0	12	0	0	1	25